

株式会社QLSホールディングス

東証グロース市場・名証ネクスト市場（証券コード：7075）

2026年3月期 決算説明資料



2026年5月14日

Agenda

1

事業内容

2

業績推移及び業績予想

3

成長戦略

4

株主還元

1 事業内容

事業内容一覧

事業内容および展開地域により法人格を棲み分けし、連結子会社5社、非連結子会社2社（サニーベイル、QLS（THAILAND）CO., LTD）にて事業を展開しています。



収益において、自治体等の補助金等割合は、保育事業においては約9割、介護福祉事業においては約7割を占めております。

1 事業内容

事業内容と運営拠点数

当社グループは「保育事業」を主軸に「介護福祉事業」「人材派遣事業」の3つの事業セグメントを全国各地に展開しています。

	2025.3末計	2026.5.14 時点						2026.5 計
		関東	関西	中部	北陸	九州	沖縄	
保育事業								
認可保育所	35	28	8	2				38
小規模認可保育所	3	2	1					3
認証保育所	1	1						1
企業主導型保育所	3						4	4
学童保育	13		22	3			1	26
保育事業計	55	31	31	5			5	72
介護事業								
訪問介護（居宅介護・居宅介護支援）	17	2	13		1			16
通所介護（生活介護）	1	3			1			4
認知症対応型共同生活介護	5	4			1			5
訪問看護	2	1	1					2
介護付き有料老人ホーム	1	1	1					2
住宅型有料老人ホーム	2	1	1					2
特定施設入居者生活介護		1						1
サービス付き高齢者向け住宅	1	2						2
障がい福祉事業								
児童発達支援	2	2						2
放課後等デイサービス	6	3					3	6
共同生活援助	54	3					57	60
就労支援（相談支援）	4	1					3	4
生活介護	2	1					1	2
介護福祉事業計	97	25	15	1	3		64	108
人材派遣事業	5	1	2	1			1	5
モバイル事業	2	1				1		2
人材派遣・モバイル事業計	7	2	2	1		1	1	7

※その他、タイに有料老人ホームが1施設

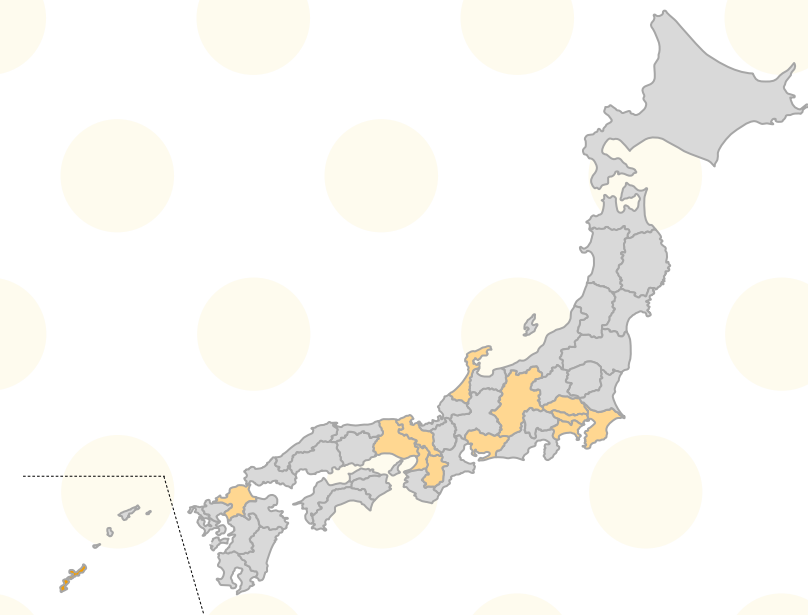
2024年3月末時点： 130拠点

+29拠点

2025年3月末時点： 159拠点

+28拠点

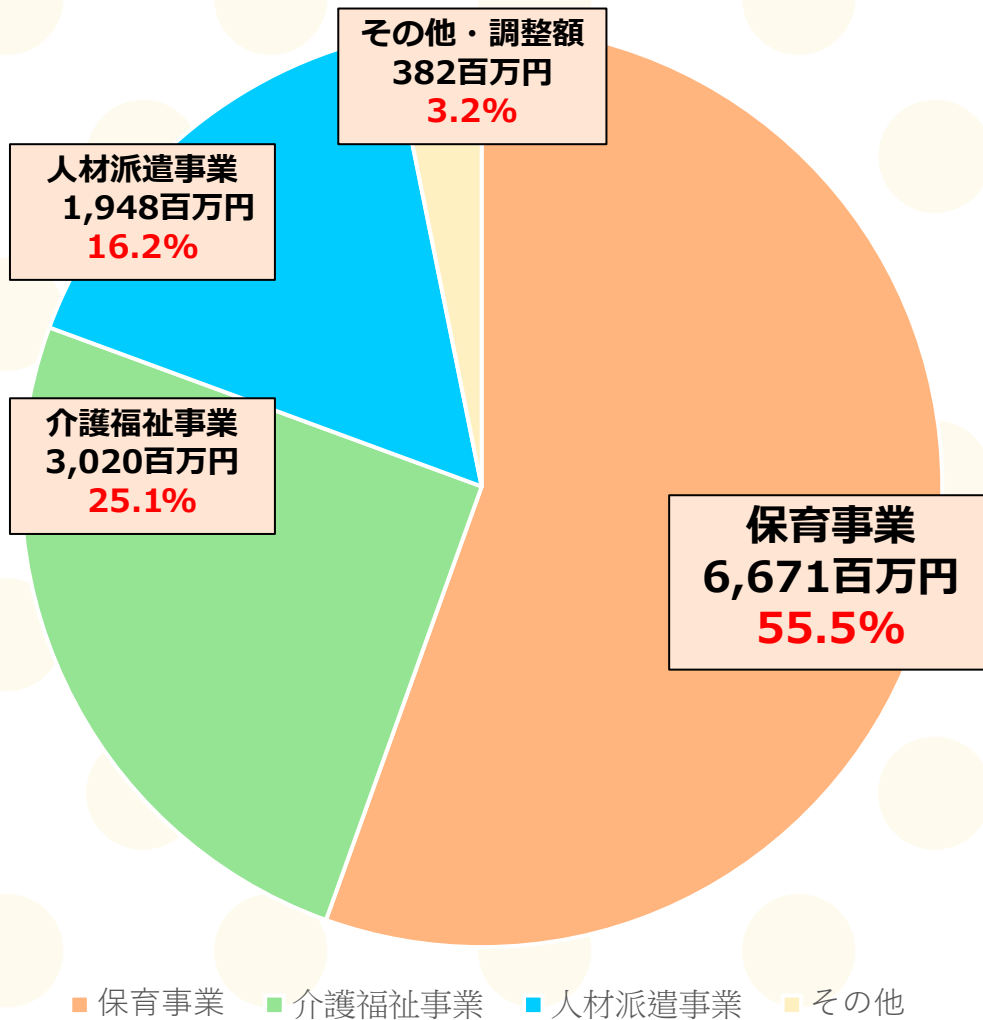
2026年5月14日時点： 187拠点



1 事業内容

収益構成

2026.3期 売上高 12,024百万円



(百万円)

	売上高	営業利益
保育事業	6,671	1,323
介護福祉事業	3,020	133
人材派遣事業	1,948	238
その他	382	52
調整額	△1	△867
連結PL	12,024	880

Agenda

1

事業内容

2

業績推移及び業績予想

3

成長戦略

4

株主還元

2 業績推移及び業績予想

2026年3月期 業績ハイライト

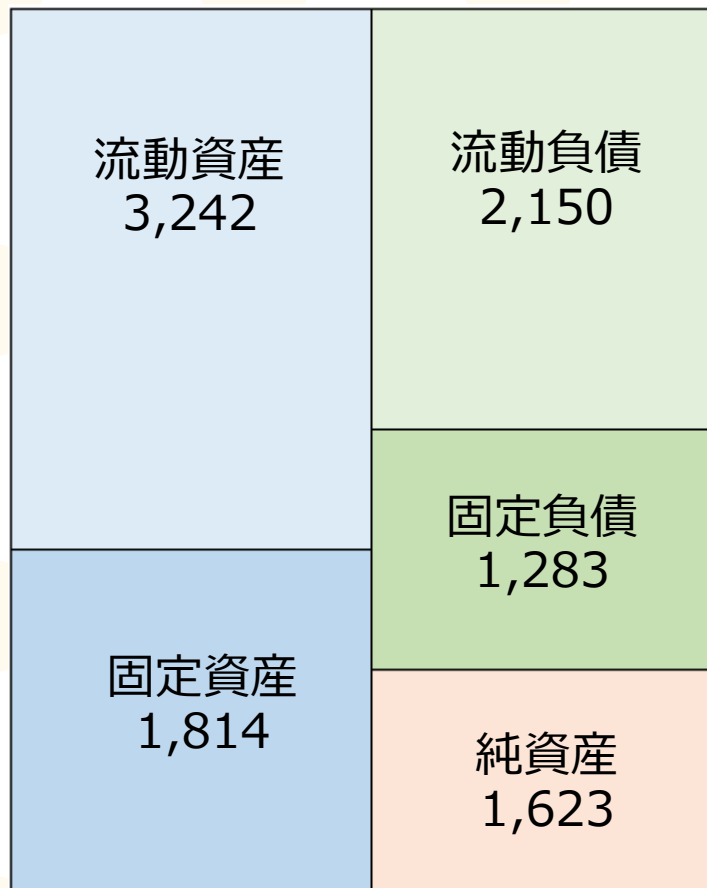
	1Q期間	2Q期間	3Q期間	4Q期間	4Q累計
売上高					
2026年3月期	2,914 百万円	2,924 百万円	2,976 百万円	3,209 百万円	12,024 百万円
2025年3月期	2,416 百万円	2,590 百万円	2,615 百万円	2,926 百万円	10,548 百万円
対前年同期比					対前年 +14.0%
営業利益					
2026年3月期	202 百万円	195 百万円	239 百万円	242 百万円	880 百万円
2025年3月期	154 百万円	149 百万円	175 百万円	130 百万円	610 百万円
対前年同期比					対前年 +44.1%
経常利益					
2026年3月期	226 百万円	196 百万円	234 百万円	243 百万円	900 百万円
2025年3月期	152 百万円	149 百万円	174 百万円	117 百万円	594 百万円
対前年同期比					対前年 +51.4%
純利益					
2026年3月期	156 百万円	142 百万円	158 百万円	52 百万円	510 百万円
2025年3月期	97 百万円	116 百万円	112 百万円	47 百万円	372 百万円
対前年同期比					対前年 +37.1%

2 業績推移及び業績予想

2025年3月期

BSサマリー

2025年3月末
 総資産 5,056百万円
 自己資本比率 32.1%



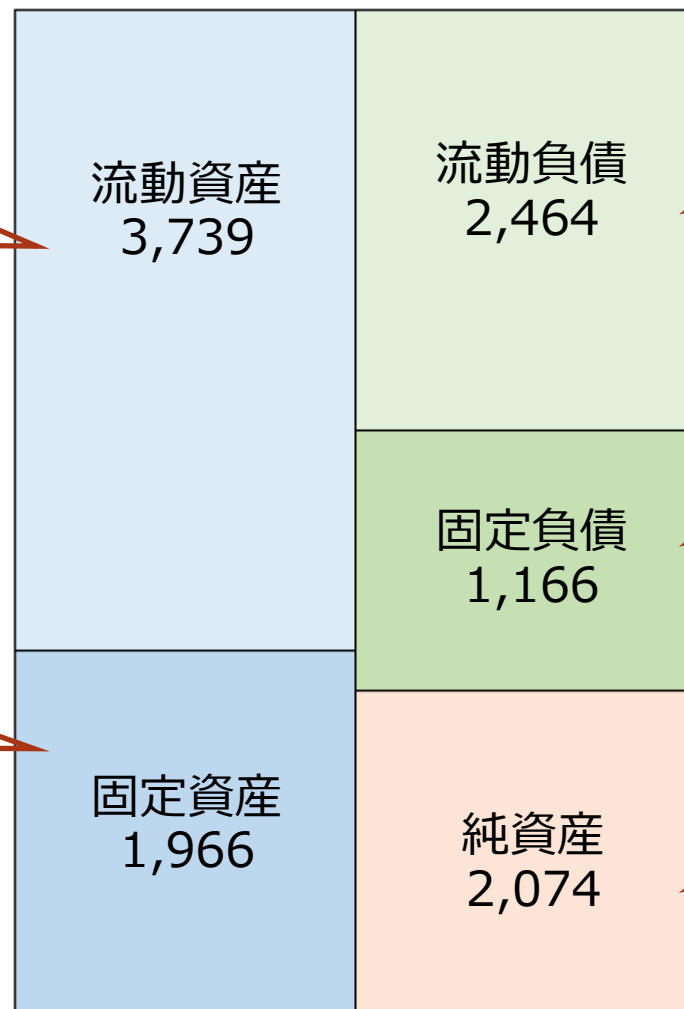
資産の部

負債純資産の部

現金及び預金 +291百万円
 未収入金 +133百万円

土地 +186百万円

2026年3月末
 総資産 5,704百万円
 自己資本比率 36.1%



資産の部

負債純資産の部

短期借入金 +256百万円
 未払金 +138百万円

長期借入金 ▲91百万円
 社債 ▲40百万円

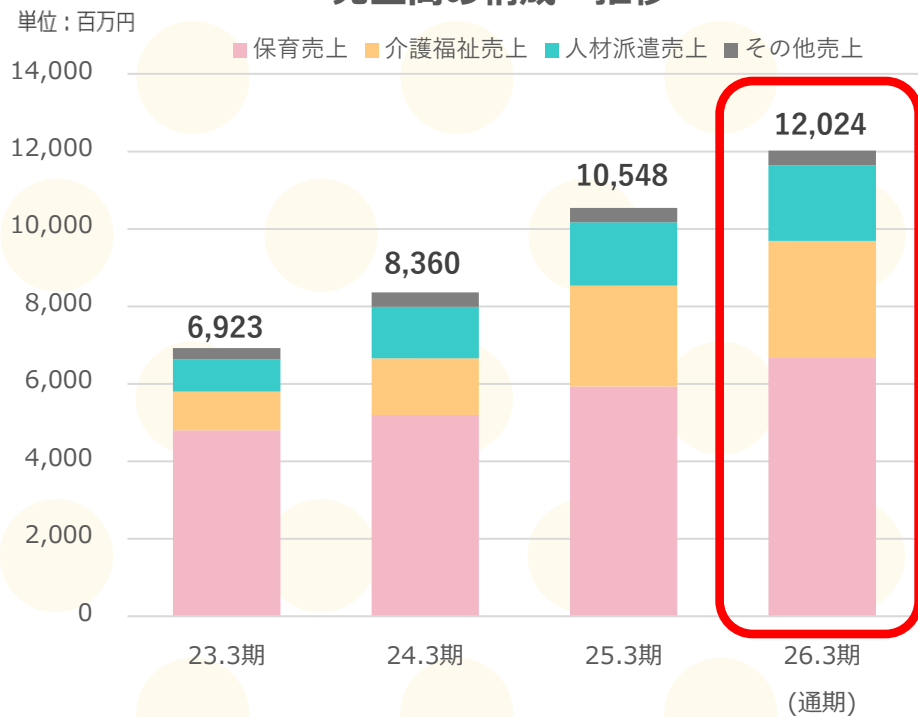
利益剰余金 +435百万円

2 業績推移及び業績予想

4 期実績

保育事業においては学童保育の運営の獲得、介護福祉事業においては新規拠点の開設やM&A、人材派遣事業においては営業社員の増加やグローバル人材（営業社員、派遣スタッフ）の強化により、事業は堅調に推移しております。

売上高の構成・推移



	23.3期	24.3期	25.3期	26.3期	対前年同期比
連結売上高	6,923	8,360	10,548	12,024	+14.0%
連結営業利益	339	409	610	880	+44.1%
連結経常利益	340	404	594	900	+51.4%
親会社株主に帰属する当期純利益	229	228	372	510	+37.1%

当期の損益状況

売上高	<p>当社グループの売上は保育売上・介護福祉売上・人材派遣売上・その他売上で構成され、2026年3月期においては約55%が保育売上となっております。</p> <p>保育事業においては、認可保育所の新設開園、また、学童保育の新規運営が始まったこと等により、売上高は6,671百万円となりました。</p> <p>介護福祉事業においては、新規開設に加えM&A、事業譲受けにより事業が拡大し、売上高は3,020百万円となりました。</p> <p>人材派遣事業においては、主力である自動車ディーラーへの派遣業務の需要が引き続き高く、コーディネーターの採用も進んだことにより、売上高は1,949百万円となりました。</p> <p>以上の結果、当社グループの売上高は前年同期比+14.0%の12,024百万円となりました。</p>
売上原価 販管費 営業利益	<p>当期より株主優待を中間・期末の2回としたことに伴い、株主優待費用として22百万円を計上しましたが、各種経費を抑制したことにより、売上高の増加率ほどの増加はありませんでした。</p> <p>以上の結果、当社グループの営業利益は前年同期比+44.1%の880百万円となりました。</p>
営業外収益 営業外費用 経常利益	<p>助成金・補助金等による補助金収入を79百万円、支払利息を21百万円、開園前費用を30百万円に計上しております。</p> <p>以上の結果、当社グループの経常利益は前年同期比+51.4%の900百万円となりました。</p>
特別利益 特別損失 当期純利益	<p>新規開設する保育施設への固定資産投資について、投資額の一部が補助金として支給されるため、整備補助金収入として163百万円を計上しております。当該整備補助金収入に対応する固定資産について直接減額方式の圧縮記帳を行なうため、固定資産圧縮損として163百万円を計上しております。</p> <p>また、主に介護施設の固定資産について、足下の事業環境を踏まえて回収可能性を検討した結果、減損処理を実施することとし、減損損失144百万円を計上しております。</p> <p>以上の結果、親会社に帰属する当期純利益は前年同期比+37.1%の510百万円となりました。</p>

2 業績推移及び業績予想

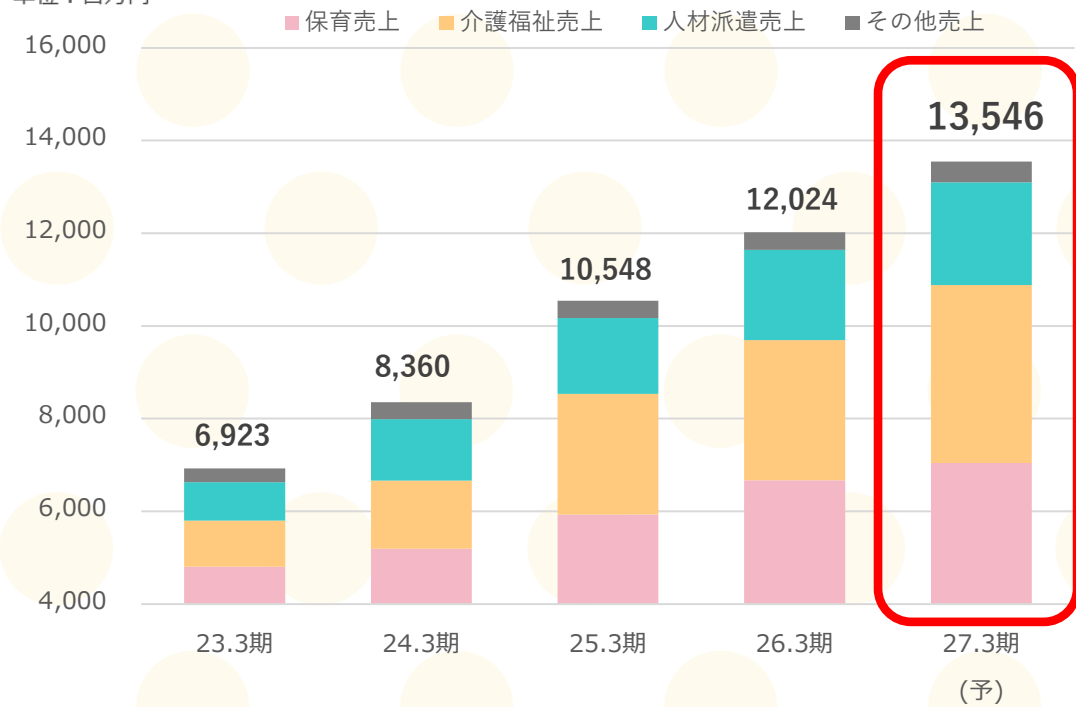
2027年3月期予想

成長戦略の実行により、2027年3月期には、保育売上を増加させつつも割合は50%を下回る見込みであります。

今後も当社グループは、**福祉コングロマリット経営**を行ない、地域に根差した強い経営体制の実現に向けた取り組みを行なってまいります。

売上高の構成・推移

単位：百万円



	23.3期	24.3期	25.3期	26.3期	27.3期 (予)	対前年同期比
連結売上高	6,923	8,360	10,548	12,024	13,546	+12.7%
連結営業利益	339	409	610	880	1,077	+22.5%
連結経常利益	340	404	594	900	1,060	+17.8%
親会社株主に帰属する当期純利益	229	228	372	510	726	+42.4%

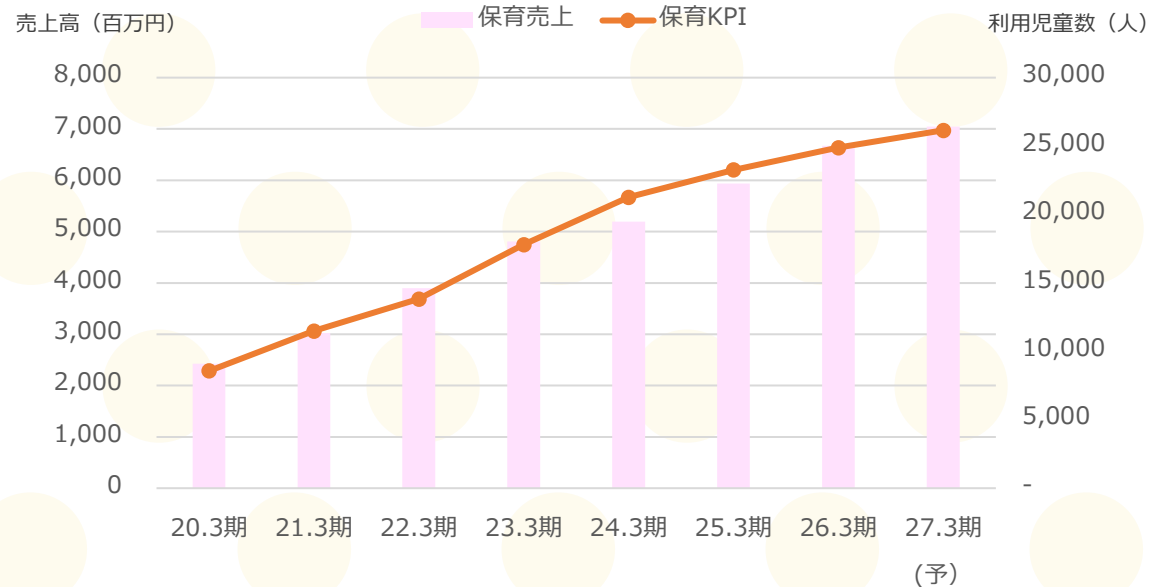
2027年3月期の損益予想

売上高	<p>保育事業においては、大阪市立毛馬保育所の運営委託が開始され、クオリスキッズ葛西保育園が開設されたことによる売上の増加を見込んでおります。</p> <p>介護福祉事業においては、2026年3月期中に行なったものも含め、新規開設、M&A、事業譲受けによる売上増加を見込んでおります。</p> <p>人材派遣事業においては、営業社員の増加やグローバル人材の強化による売上増加を見込んでおります。</p> <p>2027年3月期の売上予想は、前年同期比+12.7%の13,456百万円となる見込みです。</p>
売上原価 販管費 営業利益	<p>売上増加に伴う人件費、各種費用の増加を見込んでおります。</p> <p>2027年3月期の営業利益予想は、前年同期比+22.5%の1,077百万円となる見込みです。</p>
営業外収益 営業外費用 経常利益	<p>新規開園にかかる費用、開園前費用に対する補助金、その他受取利息、支払利息等を見込んでおります。</p> <p>2027年3月期の経常利益予想は、前年同期比+17.8%の1,060百万円となる見込みです。</p>
特別利益 特別損失 当期純利益	<p>新規開園にかかる固定資産投資に対する整備補助金収入、固定資産圧縮損を見込んでおります。</p> <p>2027年3月期の親会社株主に帰属する当期純利益は前年同期比+42.4%の726百万円となる見込みです。</p>

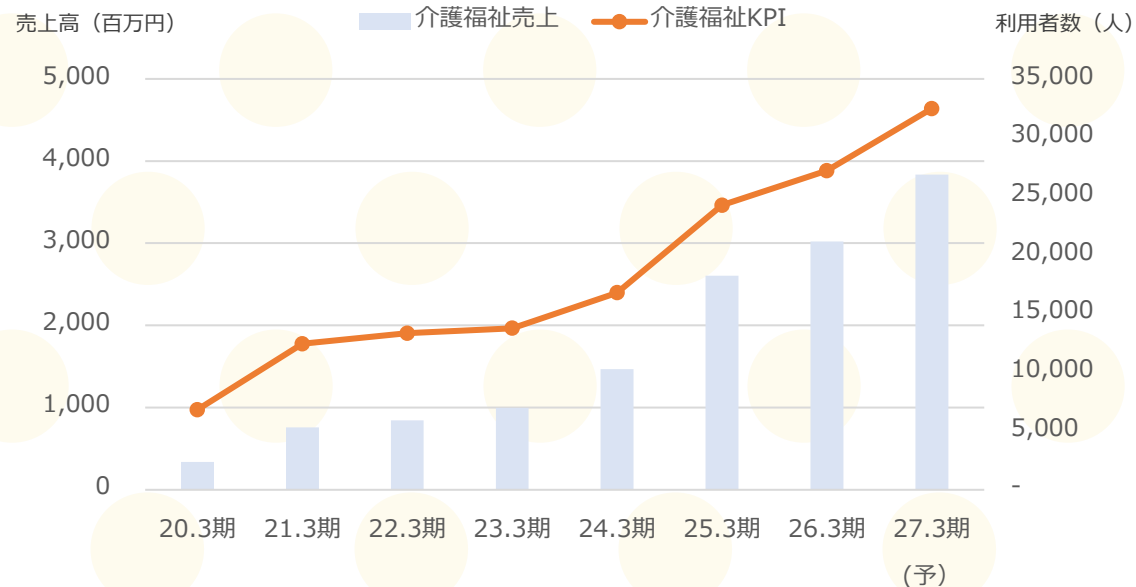
2 業績推移及び業績予想

KPI推移

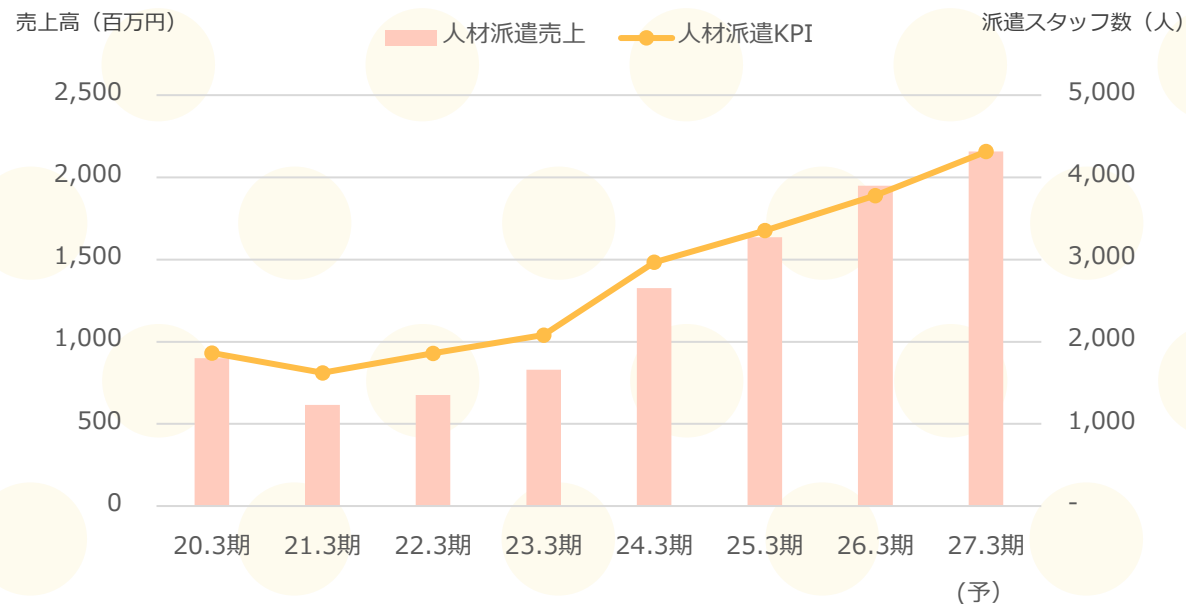
保育事業 延べ利用児童数



介護福祉事業 延べ利用者数



人材派遣事業 延べ派遣スタッフ数



保育・介護福祉・人材派遣事業において、いずれも月間数値の年間延べ人数をKPIとしており、売上高に直結する重要な評価指標となります。ただし、保育事業のうち、学童保育については利用者数が売上高に直結するとは言いえないため、KPIの集計からは除いております。

2027年3月期のKPIの推移（見込み）について

保育事業：2026年3月期に開設した保育園を含めた既存拠点の利用児童数の増加、また、新たに開設する保育所1園分の増加を見込んでおります。

介護福祉事業：M&Aにより取得した拠点の利用者の増加及び新規開設による利用者数の増加を見込んでおります。

人材派遣事業：コーディネーターの増員、クライアント数の増加に伴う派遣スタッフ数の増加を見込んでおります。

なお、上記見込みについては未確定のM&A等については含めておりません。

Agenda

1

事業内容

2

業績推移及び業績予想

3

成長戦略

4

株主還元

保育事業

引き続き、認可保育所を主として事業を拡大してまいります。新規開設だけでなく、自治体運営保育所の民間委託・民間移管を積極的に獲得していく方針です。また、学童保育の運営についても自治体からの民間委託の応募を増やし、新規獲得していきます。今後も東京を中心とした大都市での新規公募が出た際は、積極的に応募していきます。保育事業のM&Aに関しては、今後の少子化を鑑み、対象先のエリアを厳選して行ないます。

介護福祉事業

2022年7月に大阪市にて訪問看護事業がスタートし、2023年7月には横浜市でも訪問看護事業をスタートしました。2024年6月には新たな訪問介護拠点を開設し、訪問看護事業・居宅介護支援事業を開始しました。

今後も訪問介護拠点の近隣を中心に訪問看護拠点を新設し、訪問介護+訪問看護で積極的に事業展開を行ないます。

2025年7月には介護付き有料老人ホームを運営する(有)サニーベイルが加わり、さらに2026年1月、通所介護およびサービス付き高齢者向け住宅の3施設を事業譲受により取得いたしました。訪問看護に関しては、拠点数に拘らず1拠点あたりの看護師数を増やし、訪問看護ステーションの大規模化をしてまいります。厚生労働省が第9期介護保険事業計画に「介護サービス事業所の経営の協働化・大規模化」を取り上げたことも追い風に、今後も積極的にM&Aを活用してまいります。

人材派遣事業

営業人員の拡充と既存エリアへの拠点展開により、市場シェアの圧倒的な拡大を推進してまいります。

当社の成長の源泉は、「専門的・技術的分野の在留資格」を持った優秀な外国人スタッフの獲得にあります。外国人コーディネーターの在籍により、言語や文化の壁を越えたサポート体制を構築しており、これが他社にはない「選ばれる理由」となっています。

コミュニティ内での高い信頼を背景に、優秀な人材が自然と集まる好循環が生まれており、人材派遣事業のさらなる飛躍を目指しております。

3 成長戦略

M & A ①

2026年3月期におけるM&A等

2025年7月に有限会社サニーベイルの株式を100%取得しました。

年間売上高 約3.2億円

会社名	有限会社サニーベイル (2025年7月) 非連結子会社 ※2027年3月期より連結予定
本社所在地	名古屋市緑区籠山
事業内容	住宅型有料老人ホーム
施設数	1施設



3 成長戦略

M & A ②

2026年3月期におけるM&A等

2026年1月に株式会社ケアリッツ・アンド・パートナーズ（以下、「株 ケアリッツ」）より関東圏の3施設を譲受けました。

年間売上高 約3.8億円

会社名	株式会社ケアリッツ・アンド・パートナーズ (2026年1月) 事業譲受け
本社所在地	東京都新宿区 (事業譲受けは東京・千葉・埼玉の3施設)
事業内容	通所介護 訪問介護 特定施設入居者生活介護
施設数	3施設

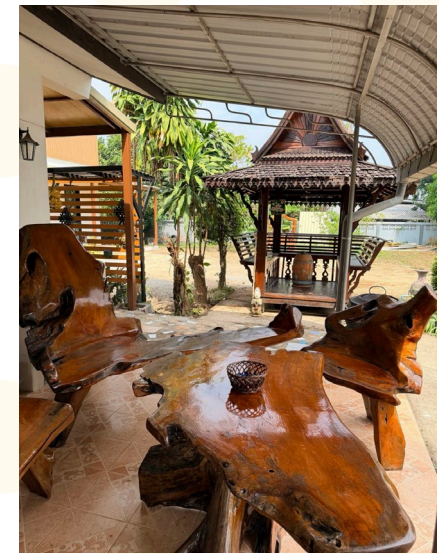


3 成長戦略

THAILAND

2025年3月期におけるM&A等－タイ

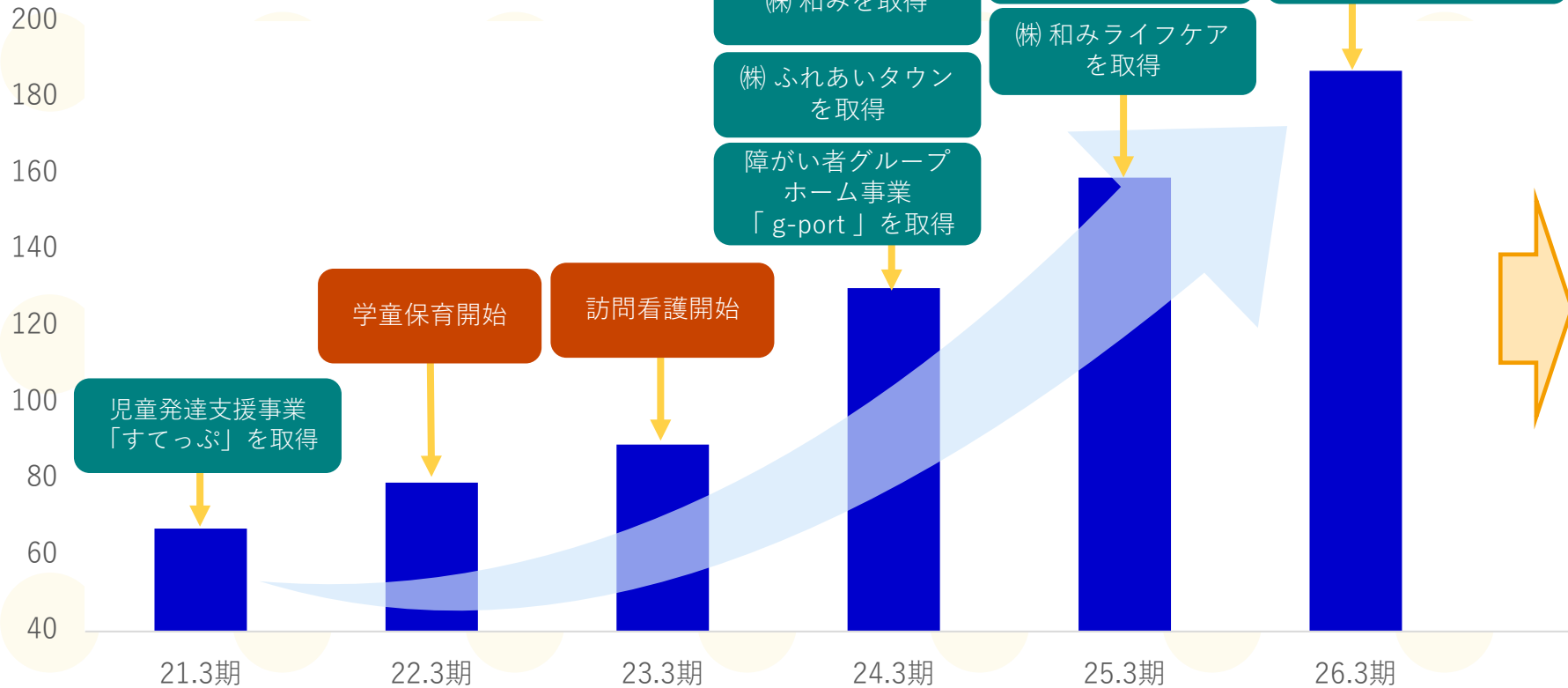
2025年1月に、タイ現地法人の株式を取得し、「QLS (THAILAND) CO., LTD.」としました。
タイ市場での事業展開を進めると同時に、将来的な我が国での介護職員の担い手を育成してまいります。
2026年1月に増床も完成し、今後、ますます精力的に活動してまいります。



3 成長戦略

実績を生かした新設・M&Aによる連続成長

■ M&A、事業譲受
■ 新規



2026.3期
拠点数増加

(有) サニーベイルを取得
+ 1 拠点

認可保育所
(埼玉県)
+ 1 拠点

学童保育
(兵庫県)
+ 11 拠点

共同生活援助
(沖縄県)
+ 6 拠点

(株) ケアリッツより事業譲受け
+ 5 拠点

+24拠点

26.3期 183拠点

総拠点数

67

79

89

130

159

183

3 成長戦略

2026年3月期の新規開設

2025年4月に開園：クオリスキッズ東浦和保育園

2025年4月に、クオリスキッズ東浦和保育園が開園しました。



2025年4月から引継ぎ開始：大阪市毛馬保育園

2025年4月から大阪市立毛馬保育所の民間移管事業者を選定され、運営開始に向けた引継ぎ保育を開始しております。

(2025年4月1日より大阪市との引継ぎ・共同保育、2026年4月1日より民間委託、2027年12月1日より民間移管)



※完成予想図（民間移管後）

2025年4月から運営開始：丹波市アフタースクール

2025年4月から、兵庫県丹波市にある丹波市アフタースクールの運営を開始しました。



2026年4月に開園：クオリスキッズ葛西保育園

2026年4月に、東京都江戸川区でクオリスキッズ葛西保育園を開園しました。



Agenda

1

事業内容

2

業績推移及び業績予想

3

成長戦略

4

株主還元

4 株主還元

株主還元：累進配当・累進優待

当社は、株主への利益還元を経営の重要施策のひとつと認識しており、経営環境や業績の状況、財務体質を勘案しつつ、累進還元（累進配当及び累進優待）（※）を行なうことを基本方針としています。持続的な株主価値の向上を目指し、中長期にわたって本方針を維持できるよう努めてまいります。ただし、M & A等の大きな投資機会発生の際には、この限りではございません。

※ 1株当たり配当金及び優待品金額の前期実績に対して、維持又は増額を行なうものです。

事業も堅調に推移しており、株主の皆様からの日頃のご支援に感謝の気持ちを表すとともに、当社株式の投資魅力を高めることを目的に、当期において中間優待を新設いたしました。また、2027年3月期の予想配当金額を、2026年3月期より1株当たり1円増額の11円としております。今後も配当及び株主優待の拡充が続けられるよう、引き続き精進してまいります。

2026年3月期配当

1株当たり10円

2027年3月期配当
(予想)

1株当たり11円

【2026年3月期の優待品】継続適用要件：半年 優待品：デジタルギフト

期末優待 (3月31日)	500株以上 1,000株未満	5,000円分
	1,000株以上	10,000円分
2026年3月期 新設 中間優待 (9月30日)	500株以上 1,000株未満	5,000円分
	1,000株以上	10,000円分

2027年3月期の優待品については、株主還元方針（累進優待）に則って決定し、2027年8月中旬に発表する予定です。